

平成 29 年度 事業報告書

第 58 期

施 設 名	春日学園		
サービス・施設種別	障害児入所施設		
住 所	〒669-4132 兵庫県丹波市春日町野村 65 の 1		
連 絡 先	電話 0795-75-1080	Fax 0795-75-0377	
認可・利用定員等	40 名（入所 30 名・DS10 名）	職員数	17 名（入所 14 名・DS3 名）
事 業 開 始 日	昭和 36 年 2 月 1 日		

1. 総 括

平成 29 年度春日学園では「子どもの安心・安全・自信・自由」を指針とし、子どもたちの自己肯定感を育成するため一人ひとりの個性を尊重しつつ、自己決定の場面を増やし自立へのはっきりした意志を育めるよう、下記の重点項目を全職員で取り組みました。

また今年度の親子遊びでは、地域に向けて大規模な参加型のイベント「おやこふれあいコンサート」を春日文化ホールで実施し、約 400 名の地域の親子に参加して頂きました。イベント後のアンケートでは多数の方に本事業所の活動において温かい言葉や今後の要望を頂き、より地域共生が深まった年度となりました。

【重点項目】

①入所希望者の実態の把握と入所への推進

29 年度は入所者 21 名でのスタートとなりましたが、こども家庭センター等の関係機関と連携を図り 8 名の児童を迎えました。今後も継続して関係機関との連携を図って行きます。

②在宅サービスの充実

放課後等デイサービス事業では、内容の充実として週に 1 回音楽療法士を招き、レクレーションを実施しました。また食事面では選択メニューや月に 1 回の誕生会で手作りケーキの提供を行い好評を頂きました。

③こども達の心のケア

思春期独特の心の不安定さを職員が理解を深める為に、兵庫県こころのケアセンターで実施されたセルフケア研修に参加しました。また子ども達が職員に直接言葉で伝えにくい事もあると思われるので無記名のアンケートを実施し、こども達の思い、意見、要望の理解に努めました。

④地域移行の推進

29 年度では 5 名の児童が退園され地域移行されました。退園後もそれぞれの地域で本人、ご家族の希望に沿った生活が出来るようその都度各関係者と密に連携を図り地域移行の推進に努めました。

⑤情報発信

毎月の広報誌やホームページにてこども達の毎日の様子や、事業所からの情報の発信に努めました。特にホームページでの春学ブログでは細やかな更新に努め、年間 248 回の更新を行いました。

保護者の方から「日々の様子が良く分かってうれしい」等好評を得ております。

⑥地域貢献

こども食堂（ポップコーン）	毎月実施	参加者 149 名
絵本の読み聞かせ	毎月 2 回実施	参加者 222 名
親子で遊ぼう	7. 12. 3 月に実施	参加者 49 名
おやこふれあいコンサート	9 月	参加者約 400 名

⑦防犯対策

建物外側に 4 か所の防犯カメラ、スタッフルームにモニターを設置し防犯対策を行いました。

⑧第三者評価

第三者評価を受審するにあたり、事業所内で第三者評価委員会を組織し全職員で評価に対する知識を深め受審に臨みました。結果、達成率 91.3%で優秀との評価を得る事が出来ました。次年度は第三者評価検討委員会を組織し、課題が残った分野の改善に取り組みます。

2. 利用者サービスの状況

(1) 年齢に合わせた取り組み

幼児期、小学部、中学部、高等部と、こども一人ひとりの年齢に合わせた支援を行う為、担当者と児童発達支援管理責任者（以下児発管）が密に連携を図りケアカンファレンスの資料を充実させ、細やかな内容の個別支援計画の作成に努めました。また支援内容も段階式となり個人の目標に向かってステップアップ出来るように全職員で取り組みました。

(2) 特性への理解とサービスの提供

昨今、対人関係に課題を持っているこども達が増加しており、職員の声掛けや環境整備だけではなかなか課題解決に繋がらず専門的な知識を踏まえた上での支援の必要性を感じておりましたので、おひさまにこにこクリニックの八尾先生を講師に招きソーシャルスキルトレーニングの基礎について一度講義を行って頂きました。講義後は統一した支援や視覚的支援等基本の大切さを再認識し個別支援の見直しを行っております。また今後も定期的に同講師を招きソーシャルスキルトレーニングの知識の習得を目指します。

(3) 給食について

将来、自宅やグループホームでの生活が見込まれる高等部のこども達には、週 1 回の調理実習をし、料理に対する興味や調理技術を高めるように支援しました。また平日やウィークエンドを利用した昼食作り・おやつ作りも継続して実施し、こども達も積極的に参加しました。園内の畑での野菜栽培は、種まきや苗の植え付けから水の管理、収穫までをこども達と職員が一体になって取り組み、収穫した野菜を給食に取り入れることが出来ました。食事介助の必要なこども達には介助食器を取り入れ、出来る範囲での自力摂取に取り組みました。正しいお箸の使い方が出来るように取り入れたエジソン箸は、その様子を見ながら通常のお箸に代えています。陶器の食器については、割られることもありましたが、割らないように丁寧に扱う子供たちも増えつつあります。

3. 地域貢献事業の状況

上記の重点項目通り

4. 健康管理・災害訓練等・会議の状況

実施月	健康管理	災害訓練	会 議
5 月	前期健康診断	前期法定点検	
6 月		総合防災訓練 (通報訓練) 消防署査察	防火管理委員会
11 月	後期健康診断 インフルエンザ予防 接種	後期法定点検 総合防災訓練 (通報訓練)	防火管理委員会
3 月		災害備蓄品更新	
毎月	体重測定・嘱託医往診	避難訓練・消火訓練	企画職員会議 生活指導委員会 ケース会議 給食委員会
毎日	服薬管理		
随時	歯石除去・ ブラッシング指導		判定会議 RM会議 学校連絡会

5. 職員研修の状況

実施月	研修名	内 容	備 考
10 月	児発管研修 (共通講義)	サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者の共通講義	神戸文化ホール
	丹波圏内給食施設協議会合同研修会	食物アレルギーに関する取組	四季の森生涯学習センター
1 月	児発管研修 (分野別研修)	児童発達支援管理責任者の分野別研修	総合リハビリテーションセンター
	児童間性暴力に関するセミナー	性暴力に関する研修	神戸市総合福祉センター
	こころのケア研修	対人支援の為のセルフケア	兵庫県こころのケアセンター
2 月	近畿地区知的障害関係施設職員研修会	共生社会への取組	奈良ロイヤルホテル
随時	県児童発達支援部会	事業所間の情報共有等	神戸市立総合福祉センター 他
	丹波市生活訓練事業	丹波市内在住の車いす利用者へ	ハートフル春日他

		の訓練事業	
6. 行事等の状況			
実施月	行事名	実施場所	内容・ねらい等
5 月	音楽鑑賞（レーナマリアコンサート）	丹波の森公苑ホール	招待事業
	春の里フェスティバル	施設内外	地域・家族・施設間交流事業
6 月	蛍鑑賞	春日町内	季節事業
	梅もぎ	三愛荘	季節行事
7 月	一泊旅行 1 班（宿泊体験）	丹波市宿泊施設	利用者リクエスト行事
	七夕祭り	施設内	季節事業
8 月	棚原区野村区夏祭り	野村コミセン・棚原区グラウンド	地域交流事業
	一泊旅行 2 班（ラフティング）	京都府南丹市宿泊施設	利用者リクエスト事業
9 月	おやこふれあいコンサート		地域交流事業
	お月見会	施設内	季節事業
	バーベキュー	施設内	利用者リクエスト事業
10 月	春の里スポーツの集い	施設内	地域・家族・施設間交流事業
	芋掘り	さかたに園	地域交流事業
	棚原地区例際	棚原地区内	地域交流事業
11 月	バス旅行	姫路セントラルパーク	家族交流事業
	ウォークラリー	施設内外	利用者リクエスト事業
12 月	忘年会	丹波市内	季節事業（職業部・保育部）
	クリスマス会	施設内	季節事業
	映画鑑賞	春日文化ホール	利用者リクエスト事業
	餅つき	施設内	季節事業
1 月	初詣	春日神社	季節事業
	初戎	春日神社	地域交流事業
	書き初め	施設内	季節事業
	とんど焼き	施設内	季節事業
2 月	節分際	施設内	季節事業
	ウィンタースポーツ体験	ピュアスポーツ 柏原	利用者リクエスト事業
3 月	ひな祭り	施設内	季節事業
	映画鑑賞	春日文化ホール	利用者リクエスト事業

毎月	調理実習（春休み、夏休みは除く）	さくらリビング	買い物・調理
	誕生日会	食堂	プレゼント贈呈
随時	DVD レンタル	ツタヤ柏原店	DVD 鑑賞
	宝探し	施設内	おやつ探し

7. ボランティア等受け入れ状況

実施月	グループ名	内 容	人 数	備 考
随時	厚生保護女性会（春日支部）	調理実習	2 名	小・中学部生徒の調理実習
	大谷大学	介護体験	1 名	
	大阪青山大学	保育実習	3 名	
	夙川学院短期大学	保育実習	2 名	
	同志社大学	介護体験	1 名	
	龍谷大学	介護体験	1 名	
	関西学院大学	保育実習	2 名	
	聖和短期大学	保育実習	2 名	
	湊川短期大学	保育実習	4 名	
	近代豊岡短期大学	保育実習	1 名	

8. 機関紙等発行の状況

区 分	内 容
種 類	春日学園広報誌・カラフル広報誌・ホームページ・ブログ・地域貢献広報誌
発送先	保護者・関係機関・氷上特別支援学校・実習受け入れの各学校・地域の方・法人内施設
発行月	毎月
部 数	60 部
内容等	施設の近況報告（事業予定・実施報告・児童の様子・苦情要望の受付と報告）

9. 資金収支結果

平成29年度決算報告書の通り

